

# こんごちは 町長 ですよ



伯耆町定例表彰式にて

今年の元旦は、雲一つない快晴のおだやかな平成十八年の新春でした。  
白銀の大山が伯耆富士を象徴するような美しさでした。事件、事故等多く発生し、暗い世相の中ですが、おだやかな年明けのように、町民の皆様にとりまして、安寧な良い年でありますことを念じております。

年末から新年にかけて、近年にない豪雪に見舞われ、生活も何かと大変だったと思います。町では雪害対策本部を設け、対策を講じているところですが、特に生活に支障をきたさないよう町道等の除雪

対策、独居老人、虚弱老人の方々の安否確認や、雪害被害の情報収集に努めております。全国各地で尊い人命被害が発生しておりますが、これからも積雪の時期が続きます。くれぐれも事故には気を付けて下さい。

現在、新年度の予算編成作業に入っております。地方交付税削減が報じられる中で、厳しい予算編成です。行政改革の具現化、行政組織の見直し、財政の健全化の推進等、地方分権に対応した行政の構築にむけて大変忙しい作業を進めております。

また総合計画の策定も最終段階に入っております。町民の皆様にも早い時期にお示しするようしたいと存じます。

一月十日に産業振興、自治振興等、町の発展にご功績のあった方々の表彰式を執り行いました。多年のご労苦と功績に敬意と感謝を表しますとともに、今後共、町政進展にお力添えを賜りますようお願いいたします。

## 大雪豪雪!!

〜雪による被害がありました〜

この冬は、記録的な豪雪の影響で、全国では死者百人を超すなどの大きな被害で、町内でも住宅破損や農作物被害などが相次ぎました。

年末からの町内の被害状況は、一月十七日現在で、合計三十件の被害が報告されています。(表1)

この大雪対策として、伯耆町は、十二月二十八日、雪害対策本部を設置しました。この雪害対策本部では、町民からの被害相談窓口を設け、職員が本部に常駐して対応し、電気や交通、医療、安否確認など関係機関との連絡体制をとっています。(表2)

また、この大雪は、例年に比べ、四倍近い降雪になっておりといわれるほどの大雪で、伯耆町でも除雪費用は、例年を上回っています。(表3)

一月十四日には、三月下旬並みまで気温が上がリ、またまった雨が降ったことで、雪崩や河川の増水が全国的に増え、伯耆町でも雪崩で、県道・岸本江府線が通行止めになる



年末年始に襲った豪雪

被害もありました。

雪は、パウダースノーのような新雪で、屋根に一メートル雪が積もれば、一平方メートル当たり百キログラム程度の重さになるといいます。それから、時間が経つにつれて、水分を含み、さらに重くなります。このように、雪は結構、重たいものです。この雪の重さへの認識が低いことも雪の被害につながっているそうです。

まだ雪の降るシーズンは続きます。お気をつけください。雪の被害など何かありましたら、総務課(雪害対策本部)までご連絡ください。

問合わせ先  
総務課(雪害対策本部)  
☎六八 四二一一

表3 平成17年度 除雪関係予算執行状況

(単位:円)

事業名	予算額 ①	12月分の除雪費 ②	1月1日から13日までの除雪費見込み額 ③	予算不足額 ① - (② + ③)
道路除雪事業	9,034,000	14,876,844	5,500,000	11,342,844
除雪車両経費	2,846,000	2,877,622	9,000	121,622
合計	11,880,000	17,754,466	5,509,000	11,464,466

1/14以降の除雪経費は含まれていません。